
ちんこ

シー様（借りの返せない男）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちんこ

【コード】

N2635P

【作者名】

シー様（借りの返せない男）

【あらすじ】

ちんこにちんこを蹴られた少年の話

(前書き)

これはノンフィクションに近いものであると思つ。

ちんこに、ちんこを蹴られた・・・
ちんこには、ちんこがないから、僕の気持ちは判らない。

彼女のあだ名は、ちんこだ。

漢字が難しくて判らないけど、確か「朕子」だったと思う。
本当は「さきこ」と読むらしい。

「ちんこ」と呼ぶようになったキツカケは、
パソコンの授業中に、
友達が、ワードで「ちんこ」を変換したら朕子と、出てきたことだ。
その日から彼女のあだ名は、ちんこになった。

僕は、面白くてたまらなかった。

彼女の事を何度も何度もちんこと言った。

そしたら、今日、ちんこを蹴られた。

僕は、初めて知りました。ちんこを蹴られることが、こんなに辛い
という事を・・・

その日から立場は逆転した。

彼女にいじめられるようになった。

僕は、ちんこを蹴られることが怖くて、彼女に抵抗できなかった。

彼女の苛めは凄かった。

その行為が残虐で、クラスの皆も怯えていた。

ちんこという話題は完全に消え去り。

彼女はクラスの主になっていた。

そうして、クラスの皆が、彼女の言いなりになり、僕を苛めてきた。
・
・

気が付くと、僕は、何事にも控え目になっていた。
みんなの視線が怖くて隠れる様に生きた。
そんなある日、掃除の時間、再び悲劇は起きた。
僕のちんこにホウキが突き刺さったのだ。

友達がフザケテ振り回していたホウキが当たったのだ。
友達が言うには、僕の影が薄くて気が付かなかったから・・・
僕は、反論できなかった。
僕には、その子しか友達が居なかったから・・・
反論して嫌われたくなかった。

時は経過し卒業して皆と別れることになった。
だけど、また、いじめられた。
でも理由はわかった。

全ては、僕の気が弱いことが原因だと気が付いたからだ。
僕は、戦った。
頑張っ て抵抗して、苛めは無くなっていった。

けれど、人目を気にする性格は変わらなくて、仲の良い友達は、
きなかった。

友達の前で、自分をさらけ出すのが無性に怖かった。
ちんこを蹴られるんじゃないかと不安になった。

それでも、苛められるよりはマシだったから、
友達が居ないことくらい我慢した。

時は立ち僕は大人になり、社会人になった。

僕の性格は変わらず控えめであったけど、毎日、やってこれた。
念願の彼女も出来た。
幸せな日々が続いていた。

でも、再び悲劇は起きた。

僕は、種無しだった。

彼女が子供を欲しがるから、何度もチャレンジしていたのだけど、
気になって調べたら、判ったのだ。

僕は、彼女に嫌われてしまう気がして、言えなかった。

嫌われると、ちんこを蹴られてしまう気がしたのだ。

だけど嘘をついている罪悪感でいっぱい、次第に一緒に居るのが
苦しくなった。

彼女とは、一緒に職場だったから、一日中、苦しかった。

ある日、職場に、イケメンで仕事の出来る男が入社してきた。

彼女は、僕と一緒に居る時より、そのイケメンと一緒に居るほうが
楽しそうに見えた。

お似合いに見えた。

僕は、彼女の幸せを願っていたからこれでいいと思った。

気が付くと、イケメンと彼女は付き合っていて、彼女は妊娠して結
婚退職をした。

ある日、健康診断で、癌が見つかった。

癌の場所はちんこで、切断しなければ助からない。

僕のちんこは、切断された。

僕は、いつしか思った。

毎日何が楽しくて生きているのか・・・

僕は自殺したくなった。

だけど、一人では嫌だ。

全ては最初に僕のちんこを蹴った、ちんこの責任なんだ。
僕は、ちんこを探出して殺した。

そして僕は死んだ。

(後書き)

実際は、ちんこ取っちゃうと、温和に成るらしいです。

競馬のサラブレッドの馬もメスに気を散らして走れないという事があるらしく、気性の激しい馬はチン子が、ちよん切られます。

でも、そのおかげか、ちよん切られた馬は大体が飛躍的に走りに強くなる。

じゃあ、全部をちよん切ろうとはならん訳で、優秀なオスは種馬となれるのだ。

ちなみに一回の受精は高いもので2000万とかする。

え？　じゃあ、人間様の俺は何億よ？

馬のピーより価値なしなのかと思うと俺は人生に絶望するよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2635p/>

ちんこ

2010年12月2日18時41分発行